

よみがえれ 宇都宮城

第 2 号

〒320-0806
宇都宮市中央3丁目1番4号
栃木県産業会館2階
宇都宮まちづくり推進機構内

「よみがえれ！
宇都宮城」
市民の会
TEL 028 (632) 8217
FAX 028 (636) 7421
URL: <http://www.utsunomiya-jo.jp/>
e-mail: info@utsunomiya-jo.jp

(題字：会長 藤井 清)

時代行列「宇都宮城下」をゆく！
うつのみや城址まつり
二〇〇三開催！



■バンバ通りを通過する時代行列

平成八年から宇都宮城址公園（旧御本丸公園）で開催されていた「うつのみや城址まつり」ですが、今年は宇都宮一千年の歴史に重点を置き、実際にその歴史を体感していただくため、市民の手作りによる「時代行列」を主体とする催しとなり、今回で七回目を迎えることになりました。

十一月二日、日曜日、九月陽気の抜けるような青空の下、多くの市民の熱い眼差しの中、出発式の会場となった市立中央小学校で開会されました。



■市立中央小6年生が扮する
殿様、姫様、小姓、腰元

出発式の冒頭、昨年より主催となった「よみがえれ！宇都宮城」市民の会」の藤井清会長から、初めて取り組んだ「時代行列」が、多くのボランティアの理解と協力により実現できたことは喜びにたえないとの謝辞が述べられました。

来賓の福田富一宇都宮市長からは、「古くて新しい」この試みが、秋の一大イベントとなり、中心市街地を活性化させるよう、市としても支援するとの力強い言葉が送られました。

時代行列の出発に先立ち、日本前装銃射撃連盟のみなさんの、火縄銃による八種類の演武と解説が披露さ

れ、行列の参加者や来場者の興味を誘っていました。

宮太鼓のとどろくなか、宇都宮木遣り保存会のみなさんの木遣り歌とともに、法被、すげ笠武士、足軽などの衣装にわらじ履きといった姿の一五〇名余りの時代行列が中央小を出発しました。

みはし通りを二荒山神社方面に入り、下の宮でお祓いを受けて大通りに入り、途中オリオン通りで飛び入り参加の七五三の子どもたちも行列に加わり、約一・五キロを練り歩きました。

ところどころで奴が形をとった踊りと毛槍を投げ渡すパフォーマンスを繰り広げて、沿道から大きな拍手を浴びました。

最後は、中央小の六年生が扮する殿様の「エイエイオー」のかちどきによって解散しました。

この時代行列は、宇都宮第四十六代城主戸田忠恕が、將軍の代理「名代」として日光参詣をした途中、宇都宮に入城するときの様子を描いた絵巻を参考に、衣装や持ち物を取り揃えたものです。

この時代行列を恒例のイベントとして定着させ、平成十八年度の宇都宮城址公園完成までにさらに整備を整えて、市民のみなさんに宇都宮の歴史を見て、感じていただき、ふるさとへの愛着を深めてもらおうと城址まつり実行委員一同意気込んでいます。

来年は、今年を上回る多くのみなさんのご参加をお待ちしております！

「戸田越前守藤原忠恕公
宇都宮城入御行列之図」

時代行列の参考にしたこの絵巻は、実際に行列の中にいた方が、後に描かれたものです。大変貴重な資料ですが、全部広げると二〇メートルはあります。今回は一部を抜粋して掲載させていただきます。



■御籠(おかご)にのった城主

瓦・柱募金

(宇都宮城復元募金)

にご協力を！

A Q 瓦・柱募金って何？

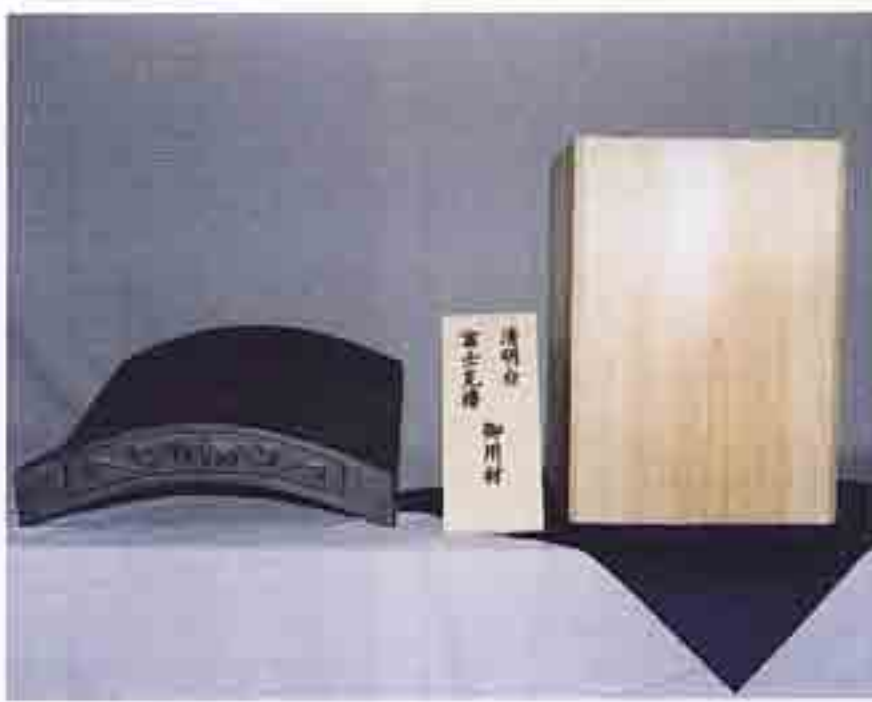
「よみがえれ！宇都宮城」市民の会では、宇都宮市で進めている宇都宮城の一部復元を、市民の立場から応援し、完成した宇都宮城址公園を人々が集う「宇都宮の新しいシンボル」とするため、瓦一口三千円・柱一口一万円で、広く市民のみなさんに募金の協力をお願いします。

A Q 募金はどう使われるの？

市民の会できりまとめ、責任を持って宇都宮市に寄付し、櫓などの歴史建築物の復元費用として使われます。

A Q 募金の目標額は？

一億円を募金活動の目標としています。



■実際に復元に使用される瓦・柱の見本

A Q どこで募金できるの？

募金は、
◆足利銀行
◆栃木銀行

◆JAうつのみや

いずれかの市内の店舗に置いてある専用振込用紙に必要事項をご記入のうえ、店頭でお振り込みください。
(振込手数料は無料です。)

瓦一口 三千円

柱一口 一万円

★右記の金融機関がお近くにならない方は、事務局にご連絡いただければ郵送いたします。

A Q 瓦に名前を書けるって本当？

本当です。
瓦募金にご寄付いただいた方は、実際に復元に使われる瓦の裏に、お名前や簡単なメッセージを直筆で入れることができます。

お子さまのご誕生や、ご結婚をはじめ様々な記念に、宇都宮城にメッセージを残してはいかがでしょうかでしょう！

A Q 瓦にはいつ名前を書けるの？

瓦への記名は、復元工事の進行に合わせ、平成十七年度に記名会を開催する予定です。
瓦募金にご寄付いただいた方には再度ご連絡いたします。

A Q 宇都宮市民でなくても募金できるの？

A 募金の趣旨にご賛同いただければ、どなたでも大丈夫です。

A Q 募金すると受けられる特典は？

- ① 所得税・住民税の寄付金控除や法人税の損金算入など税法上の優遇措置が受けられます。
- ② 寄付者全員へ募金協力への謝意の礼状を送付します。
- ③ 芳名一覧を作成し、掲示します。
- ④ 個人で一万円以上、団体で三万円以上の寄付者には、「城主証」を発行します。
- ⑤ 個人で五万円以上、団体で十万円以上の寄付者には、木札を掲げる形式で宇都宮城址公園内に銘板を掲示します。



■城主証見本

●お問合せ先

「よみがえれ！宇都宮城」

市民の会事務局

〒320-0806 栃木県宇都宮市中央三一ー一四

栃木県産業会館二階

宇都宮まちづくり推進機構内

☎〇二八(六三二) 八二一七

宇都宮市に六六〇万円寄付

市民の会は、十月十四日(火)に、みなさんから寄せられた募金のうち六六〇万円を、今年度上半期分として市の宇都宮城復元基金に寄付いたしました。
今後、毎年度二回、市に寄付してまいります。



■藤井清会長から宇都宮市長へ

◆ただいまの募金総額◆

(平成15年11月14日現在)

10,396,111円

(瓦468口、柱493口)

◎みなさんのご協力お願いいたします。

宇都宮氏の墓所を訪ねて

十月十日（金）、十六日（木）の二回にわたって、益子町にある宇都宮氏墓所と地蔵院・綱神社（ともに国指定重要文化財）、宇都宮市清原の同慶寺、飛山城跡（国指定史跡）を巡るバスツアーを行いました。

十日は二十九名、十六日は十九名のみなさんが参加し、両日とも中世の宇都宮に造詣の深い石川速夫さんに解説をしていただきました。

地蔵院は、宇都宮氏三代城主朝綱が、阿弥陀堂として建立したのに始まるかと伝えられ、宇都宮氏の菩提所になったそうです。

この地蔵院の近くに、初代宗円から三十三代正綱までの墓碑があります。また、飛山城は、宇都宮氏の支族として活躍した芳賀氏により築城されたといわれ、鬼怒川を臨む台地を利用した賢固な城で、現在、城跡の整備が行われています。当日は、同慶寺から城道を抜けて飛山城跡を訪れました。

参加されたみなさんは、宇都宮氏の墓所や、整備の進んだ飛山城跡を歩き、宇都宮の歴史にそれぞれ思いを馳せていらつしやるようでした。市民の会では、今後もこのような見学会を行い、宇都宮の豊かな歴史を広く知っていただく予定です。ぜひ、ご参加ください。

歴史バスツアーに参加して

会員 原 秀 夫さん



最初、宇都宮氏墓所を訪れるバスが、なぜ「益子町」へ向かうのか分からないまま出発しました。車中では、石川速夫先生のレクチャーで、「南北朝の乱」で宇都宮氏九代城主公綱が楠木正成と戦い、引き分けて勇名を轟かせたという逸話をお聞きし、深い感銘を受けました。

益子町上大羽に到着し、冒頭の疑問に合点がきました。約八〇〇年前に、宇都宮氏三代城主朝綱が建立したとされる地蔵院や綱神社を訪れ、平安後期に始まった宇都宮氏初代から三十三代まで代々の墓碑（二十数基の五輪塔）が崇高に立ち並んでいる様に、歴史の重さを感じました。



■宇都宮氏墓所（益子町上大羽）

帰路、飛山城跡（約七〇〇年前築城）に立ち寄った際には、荒廃を想像していただけに、その史跡の保存や復元の進展ぶりに、宇都宮城の復元を重ね感動しました。

この企画に参加し、「世は移れど文化は語る」を推進したいと念じつつ、次は、その後の城主の墓所や宇都宮氏に関わりのある場所についてのバスツアーを組んでいただければ幸いです。ありがとうございました。

個人会員向けの研修会開催

九月七日（土）市役所一四階大会議室で個人会員向けの研修会を開催しました。

市民の会事務局より、組織やこれまでの活動について説明後、市教育委員会文化課の増山指導主事による宇都宮城の歴史についての講演と、市公園緑地課による宇都宮城址公園の整備計画の説明がありました。

この研修会は、個人会員のみならず、これから会のPR・募金活動などにどんどん参加していただくための基礎づくりという目的で開催したものです。

これからも、個人会員向けの研修会は開催の予定です。会員のみなさんのご参加お待ちしております。

宇都宮城址公園の整備スケジュール

- 平成十五年度
 - ◆土塁の造成工事開始
- 平成十六年度
 - ◆土塁の造成工事
 - ☆土塁のスケールの大きさが見えてきます。
- 平成十七年度
 - ◆歴史建築物の工事開始（櫓・土塀の石積み等）
 - ☆櫓などの歴史建築物の骨格が姿を現します。
- 平成十八年度
 - ◆緑道工事
 - ◆宇都宮城址公園整備工事完成
 - ☆宇都宮城の一部が宇都宮城址公園としてよみがえります！

歴史講演会開催のお知らせ

「天保社参と宇都宮城」

期日／平成十六年二月十四日（土）
場所／宇都宮市役所十四階 大会議室
講師／大嶽 浩良氏
宇都宮市文化財保護審議委員
内容／近世の宇都宮についてのわかりやすい講演です。

※申込方法など詳しくは、「広報うつのみや」一月号」や市民の会のホームページでお知らせします。

宇都宮城址公園 完成イメージ図



■平成18年度完成予定(図面下が北になります。)

宇都宮城ってどんな城？

城にまつわる物語

宇都宮城は、近世において、極めて大規模な城郭形成がなされ、東西南北とも1kmを超すエリアを有するようになりました。

当然、城の大規模化に伴って、防衛に重点を置いた門、櫓が配されるようになりました。宇都宮城が、もっとも城としての形を整えたのは、何といても、本多正純が城主を勤めた期間であるといえるでしょう。

城郭から城下までを含んだ整備は、この在任期間に集中して進められました。

江戸幕府の初期、※大御所時代の徳川家康の側近中の側近であった本多正信を父に持っていた訳ですから、家康公が祀られている日光山を控え、また、関東の要所に当たる宇都宮を任されている立場からすれば、正純の意気洋洋たる城下町造営は当然のことかもしれません。

このような背景の中から、全国津々浦々、どちらにも城にまつわる物語があるように、宇都宮城では、かの有名な※「宇都宮釣天井伝説」が生まれました。

その真相は、すでにみなさんもなんらかの形でご存知とは思いますが、結果として「宇都宮城II釣天井」というイメージを創造するに至ったのは、事の真偽は別としても、当時の様々な時代背景にこそ、歴史的な価値があるからだと感じられます。

御成御殿の存在

おなりごてん

宇都宮城には、將軍の日光社参(参詣)の宿泊地として、御成御殿が存在していたわけですが、やはり宇都宮城の特徴という点では、特筆すべき点であると思われる。「城主が將軍をお迎えする」という、当時としては最高に値する資格を有する立場にあった宇都宮城は、石高の大きさだけでは測れない特別な役割が、当時からあったのではないのでしょうか。

今、まさによみがえる宇都宮城。史実、物語、伝説。それらが入り交じった中から、平成の城郭がみなさんの目の前に現われようとしています。

このお城の復元を機会に、みなさんとともに、改めて宇都宮城の歴史をひもといてみたいと思います。

※大御所時代の徳川家康

徳川秀忠が二代將軍になってからも、家康は駿府に隠居しながら、本多正信を秀忠の側近につけて、影響力を保ち続けました。

※宇都宮釣天井伝説

宇都宮城主本多正純が日光社参から帰る將軍を、からくり仕掛けの天井をつくって暗殺しようとした、という伝説のことです。

正純が突然宇都宮城を取り上げられ、出羽(秋田県)に流されたことから生まれた創作で、講談・芝居の題材となり、宇都宮城の名を全国に広めました。